

# かんきょう祭 in あきたかた～2012 発見～に出展

## 環境もやい☆新聞

第4号

平成25年2月1日

発行：環境もやい☆  
安芸高田運営委員会

### エコ体験コーナーやパネル展示

平成24年10月28日、クリスタルアーシヨ（安芸高田市民文化センター）にて、安芸高田市主催による環境保全啓発イベント「かんきょう祭inあきたかた～2012発見～」が開催されました。

環境もやい☆安芸高田はエコ体験コーナーに出展し、紙すき教室・ふろしきエコバック教室を行ったほか、「LED・蛍光灯比較実験の実演を行いました。またパネルを展示し、これまでの活動を紹介しました。



来場者でにぎわう会場（上）と初披露された安芸高田市エコマスコットキャラクターたかたん（右）



エコ体験

### LED・蛍光灯比較実験

白熱電球、電球型蛍光灯、LED電球は、この順に消費電力が少なくなります。それぞれの電球に測定器をつないで、どのくらい差があるかを比べました。



エコ体験

どうやるの?

### ふろしき活用

商品の包みや袋の使用量を減らすために、一枚でいろいろなものが包めたり、バッグになったりするふろしきの活用法を解説する教室を実施しました。



エコ体験

### 紙すき教室

牛乳パックを原料としてはがき大の厚紙をすく教室を実施しました。参加者に牛乳パックから紙ができることを体験してもらい、紙を大切にすることや、リサイクルの大切さを実感してもらいました。

### 参加者の意見・感想

- ・知り合いの竹やぶの整備を始めたので具体的な破碎機の費用や処理能力について教えてほしい。
- ・竹を伐採し、積んだままではきれいにならない。利用しないといけない。
- ・山火事等の危険性から現場処理は難しい。
- ・里山は利用価値が下がって放置されるようになった。
- ・竹炭は焼くのにかなり手間がかかり需要が低い。燃料としても火力が弱い。
- ・酪農分野ではおがくす不足や発酵剤へのニーズもあるが、需給バランスのコーディネートが難しい。
- ・リサイクル製品に付加価値をつける。
- ・企業と協力ができないか。
- ・施設の見学がしたい。アスパラを作っているが市販の肥料は高いので、利用できるならしたい。
- ・家に竹やぶがあるので活用したい。
- ・堆肥センターがあるが、堆肥は量がないと発酵しない。また、安定供給ができない。
- ・竹を要らないものではなく宝物とみるべきである。
- ・竹やぶをまず竹林に戻ることが大切である。今は、「竹林」をつくりましょうという段階である。
- ・10、20年後に品質のよい竹林をつくるための仕組みを作っていくかといかない。
- ・子どもたちは荒れた竹林しか知らないから、誰かがよくしないとそれをよくしようと思わなくなるだろう。
- ・市のなかでモデル地区を1カ所決め手実際にやってみないとわからない。
- ・地区のなかで、やりたい問題、取組を整理して次回運営委員会に持ち寄ってほしい。

平成25年1月16日、市役所にて、里山環境サポートセンター代表 吉山朋之氏を講師に招き、山林・竹林の里山保全における現状や課題について知見を深め、質疑応答や意見交換を通して環境リダーとしてのスキルアップを図るための勉強会を開催しました。



### 竹林整備と竹の活用勉強会



### 活動紹介パネル展示

今年度、かんきょう祭りの開催までに実施された環境もやい☆安芸高田の活動を第1号から第3号までの新聞にまとめ、展示しました。